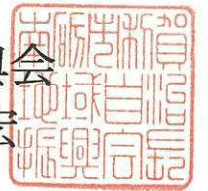


平成21年11月24日

南砺市長 田中幹夫 殿

利賀地域自治振興会
会長 古野 宏



要 望 書

1. スノーバレー利賀営業再開について

利賀地域の行政諸施策の推進につきまして、日頃から格別のご高配を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、当スキー場は、県内外64社の企業と利賀村が出資した利賀リゾート開発（株）が、総工事費約40億円投じて平成9年12月にオープンしたスキー場であり、最長滑走距離3000mは北陸最大規模で雪質がパウダースノーのスキー場として多くのスキーヤーから親しまれてきております。

しかし、その後諸般の事情から平成12年度に旧利賀村が購入して経営を行い、現在は（財）利賀ふるさと財団が南砺市から指定管理を受け運営されております。

当スキー場は、ウィンタースポーツの向上、当地域の活性化と地域就労の確保等幅広く重要な役割を担っております。

しかし、今春時に一部リフト支柱の移動と傾斜が確認され、安全性確保が最優先とし、今シーズン営業休止の判断がなされました。このことは、地域住民にとって大きなショックであり早期再開を願うばかりであります。

市当局からは原因解明を行い、次年度の営業再開に向けて復旧を図りたいとの説明を受けておりますが、何かと厳しい社会情勢下ではありますが、地域住民からの強い要望でありますので、何卒早期再開に向けての対策を講じられるとともに、今年度従業員の雇用支援に対しても格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



